

## はじめに

平成18年に出版した「安心開業ハンドブック」（デンタルダイヤモンド社刊）から早、5年近く経過して歯科業界も大きな変化を迎えています。

特に、診療収入に関して言えば保険収入、自費収入とも厳しい状況にあります。

また、一方で新規開業数は従来とほぼ同水準を維持しており、そのことがさらに歯科業界の競争激化に拍車をかけております。

私ども、橋本会計は平成8年の開業以来、歯科医院の新規開業など、現在まで約220医院の歯科のお客様の会計・税務のお手伝いをしてまいりました。

そのなかで実際の診療収入の状況を分析するツールとして「患者データ表」を活用し、そのときどきの歯科経営にかかわる意思決定のアドバイスをさせていただきました。

歯科医院の経営は様々な要素で成り立っているものなので、診療収入にのみ依存するわけではありません。しかし、診療収入の安定（診療収入の増加）なくしては歯科医師の先生方の目標とする歯科治療の継続も難しいものとなります。

特に、昨今の経済不況の影響による低成長期にあっては、診療収入の減少が歯科経営に与える影響は大きいと言えます。

このような状況のもとで、歯科医師の先生方ご自身が診療データを分析して、歯科医院経営にお役立ていただきたいという想いから執筆しましたのが、「歯科診療収入アップモデル」です。

内容は実際に診療をしている歯科医師の先生方にご理解いただけるように、説明の方式では診療収入にかかわる個別要素（実日数、月回数、1回点数）を用いました。

また、各項目をできるだけ診療収入の観点から説明するようにいた

しました。一部説明不足の部分もあるかと思いますが、拙書「安心開業ハンドブック」と併せてお読みいただくとご理解が進むと思います。

今回の各種データは、橋本会計のお客様の患者データをもとに作成されたものが多数あります。改めて歯科会計のお客様にはこの場をお借りして、御礼を申し上げます。

平成22年10月1日

歯科会計の橋本会計  
公認会計士・税理士 橋本 守  
(税理士法人橋本会計)